

Cantabile

2013. March

Vol. 8

発行

山形県音楽教育連盟
山形県小中学校教育研究会音楽部会

発行日

平成25年 3月31日

もっと

ずっと

いっしょに

小中高校生合同の「ふるさと」の大会唱奏がフィナーレを見事に飾り、十月二十六日、東北音研置賜大会は、東北各県より約三百名の参加を得て、感動に包まれる中、幕を閉じた。これまで、公開授業、研究演奏、そして大会運営等に精力を傾注いただいた置賜地区の先生方、そして、当日参会いただいた県内各地の先生方に改めて感謝の意を表したい。

さて、大会でめざしたものは、「いっしょに音楽 もっと音楽 ずっと音楽」の大会主題のもと、本大会の研究を進めることを通した、私たち教師と児童生徒の更なるレベルアップであった。参加者からいただいた評価をもとに、今後も児童生徒に寄り添い、音楽の学習をさらに深めるとともに、我々教師が研修したことを自校や地区での音楽教育の深化に結びつけていかなければならない。

そして、もう一つは音楽の絆を、より強固なものにしていくため、音楽教育の灯を繋いでいこうということであった。

今なお、東北大地震の復興が十分進まず、不自由な環境で学習している児童生徒がいる。当たり前のように学習することができる本県は、この現実感謝しつつ、目の前の児童生徒とともに、本会の灯をこれからも灯し続けていかなければならない。継続することは新しい事業を興すのと同じくらいのエネルギを要する。いろんな思いのこもったバトンを実際に次へと繋いでいかなければならない。大会は終焉を迎えたが、私たちの日々の実践は、新しいスタートが切られたばかりである。

ゴールは新しいスタート

会長 佐藤 文昭



第60回 東北音楽研究大会～山形大会 第23回 山形県音楽教育研究大会～置賜大会 報告

午前中は、公開授業、分科会が開催され、活発な意見交換がなされた。午後からは伝国の杜で全体会、研究演奏が行われ、子ども達のすばらしい演奏を聴くことができた。米沢で研究演奏、東置賜で授業研究、西置賜で事務局・総務部を担当し、置賜地区がいっしょに協力し合い、子ども達と共に音楽の良さ素晴らしさを追求することができた大会になった。



小学校部会：会場 南陽市立赤湯小学校

公開授業

- ・2年「ようすをおもいうかべよう」
川西町立玉庭小学校 教諭 遠藤 由美
- ・6年「和音の美しさを味わおう」
高畠町立高畠小学校 教諭 吉田 淳子
- ・6年「曲のまとまりに気をつけて音楽を味わおう」
～旋律づくりを通して～
南陽市立宮内小学校 教諭 佐藤ゆう子
- ・3年「いろいろな音色をかんじとろう」
川西町立大塚小学校 教諭 中川 伸子
- ・3年「せんりつのとくちょうをかんじとろう」(鑑賞)
高畠町立糠野目小学校 教諭 渡部 利絵
- ・3年「せんりつのとくちょうをかんじとろう」(器楽)
南陽市立赤湯小学校 教諭 佐藤 由紀

分科会を「歌唱」「音楽づくり」「鑑賞と器楽」の3領域に設定し、授業者ごとチームを組んで研究を進めてきた。①共通事項を中心とした確かな学びのある授業づくり②思いや意図を持った表現および鑑賞活動のありかた③言語活動の充実④ねらいや学習の見通しが明確な授業作りを視点に指導者、助言者の先生方のご指導のもと授業研究を進めてきた。子どもの実態を踏まえ、ねらいを明確にした確かな学びのある授業を公開することができた。

高等学校部会：会場 九里学園高等学校

研究発表

「音楽教員のための〈音楽業務とコンピュータ〉」
県立楯岡高等学校 布川 清史

公開授業

「ことばを大切にしたい日本歌曲の表現」
九里学園高等学校 教諭 根津 利栄

■全体講評

国立教育政策研究所 教育課程研究センター 研究開発部 教育課程調査官
文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教科調査官

大熊信彦氏

■研究演奏

- ★伝統音楽
○合唱
○小中高校合同合唱
○高等学校合同合唱
- ★吹奏楽
- ♪敬師太鼓
♪米沢市平和の歌 混声三部合唱「光」
♪米沢市政100周年記念イメージソング「はくたちのまち米沢」
♪「おしょうしな」雪の精の踊り
♪山形県民の歌「最上川」
♪混声合唱のためのカンタータ「土の歌」より第1楽章「農夫と土」第7楽章「大地讃頌」
♪行進曲「立派な青年」
♪吹奏楽のための賛歌「大いなる流れへ」



音楽の「いのち」を活かし「まなび」と「かかわり」のある活動の中で

中学校部会：会場 南陽市立赤湯中学校

公開授業

- ・2年「人間と音楽のかかわりを考えよう」
南陽市立沖郷中学校 教諭 矢野 晃子
- ・3年「アルトリコーダーアンサンブルを楽しもう」
高畠町立第一中学校 教諭 蓮沼 節子
- ・3年「強弱の変化のおもしろさを追求した合唱を楽しもう」
赤湯市立赤湯中学校 教諭 淀野 佳子

本大会研究テーマを授業作りにどう反映させていくかについて「教科への思い」と「めざす授業像」を中心に授業研究を進めてきた。生徒数減少による中学校の統廃合が進む中、少ないメンバーではあったが、大会のための特別な授業ではなく、普段行っている日常的な授業の改善に取り組み、成果を上げることができた。先生と生徒との温かい信頼関係の中、新指導要領に基づき、生徒同士の話し合いの中から音楽の要素を学びとり、自分たちの表現に生かしていくなど意義のある授業を提案することができた。



全体会・研究演奏

午後からの全体会では、文部科学省の大熊信彦先生より全体講評として、各授業へのていねいなご指導と講評をいただいた。音楽科における思考力・判断力・表現力の育成が自己理解につながり、それが他者をも理解できる人を育て「生きる力」を育むことにつながるという音楽教育の本質を教えていただいた。「いっしょに、もっと、ずっと」という優しい言葉の中に音楽教育の本質と目指すものが反映されているというお話をいただき、この言葉にこめられた思いをさらに認識できた。

研究演奏では、米沢市内の小・中・高校の合同合唱を始め、中・高校生の美しい歌声、迫力のある吹奏楽の演奏など、米沢らしい歌声や演奏を聴くことができた。子ども達の生き生きとした歌う姿に感動をもらった。すばらしかったという感想が参会者から寄せられ、演奏に携わった子ども達にも忘れられない思い出になったと思う。

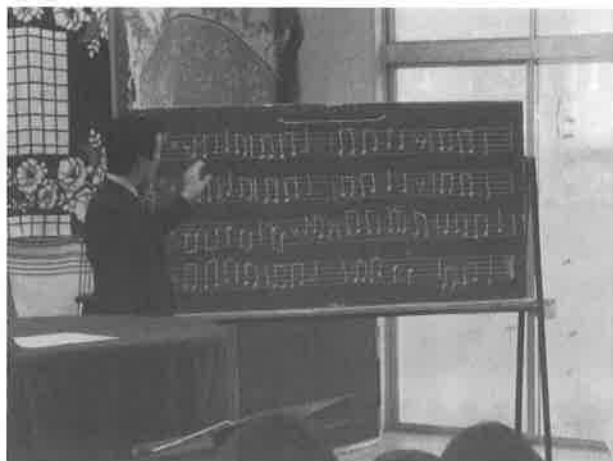


高等学校 研修のあしあと

- 1 期 日 平成二十四年十月二十六日
2 会 場 九里学園高等学校
3 内 容 研究授業

九里学園高等学校 根津利栄教諭

「ことばを大切にしたい日本歌曲の表現」
一学年女子のみの二十六名、音楽選択者による授業が公開された。教材楽曲として、「夏の思い出」(作詞 江間章子、作曲 中田喜直)を用い、前時までに決めごとをせず自由に作詞をさせ、本時でその作品をメロディに合わせて歌い合い、感想を述べさせる。生徒たちの部活動や私生活の様子がよく表れていて、メロディと合わず字余りな部分もあったが、生徒はもちろん、参加者全員がとてもほのほとした雰囲気での授業が展開された。



(2) 研究発表

山形県立楯岡高等学校 布川清史教諭

「コンピューターと音楽業務」
コンピューターを使って、

音楽に関するどんなことが
できるのでしょうか

少なくとも三十代以降の先生方は、学生時代にコンピューターに携わる授業を受けていないと思われる。そんな中、布川先生がコンピューターを音楽業務に取り込もうとした経緯と、使用しているソフト(オペレーションシステム、略してOS)について発表された。とても具体的な資料を用意していただき、モニターで画面を出しながらの説明であった。参加者全員が興味を示すが、と同時に実際それを使用することは、決して安易なことではないのも事実である。

会報担当 米沢中央高等学校教諭

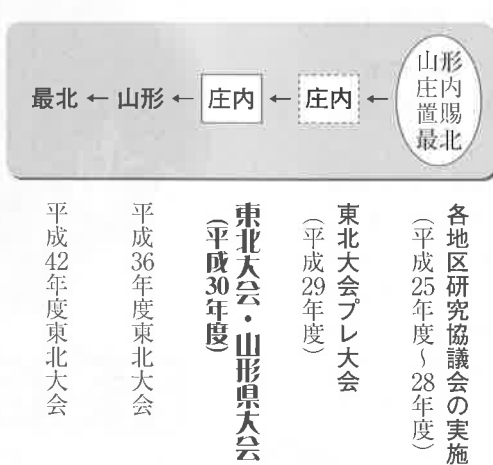
村田 睦尚

研究協議会 これからの流れ

東北大会が終わりました。同時に6年後の大会のスタートを切りました。
平成25年度以降の研究協議会それに伴う合唱指導者講習会の開催についてです。

Ⅱ 研究協議会 Ⅱ

来年度からは、各地区で研究協議会を開催することになります。各地区で研究を行いながら、新テーマの検討・協議を行い、新たな研究がすすめられます。
○来年度以降の流れ



Ⅱ 合唱指導者講習会 Ⅱ

今年度まで合唱指導者講習会は置賜で行っていましたが、25年度はローテーションの順にならって、最北地区で合唱指導者講習会が開催されます。

合唱講習会の開催ローテーション



○来年度以降の流れ



合唱指導者講習会の担当になった地区は、講師選定やその依頼、会場設定や案内状発送等を行うことになります。
また、東北大会や合唱指導者講習会の担当地区より、事務局次長も選出します。来年度の合唱指導者講習会は、最北地区です。どうぞよろしく願います。

あ と が き

東北音研「置賜大会」が終わりました。少子化の影響で学校が閉校・統合し、教員数が減る中で、苦勞の連続だったと思います。授業者・研究演奏者のみならず、運営に携わった先生方本当にありがとうございました。

さて、卒業シーズンで合唱指導に熱が入る季節です。今年は各学校でどんな歌を歌って学び舎を巣立っていくのでしょうか。いっしょに歌い、その歌を仲間と共にもっと歌いたいと思い、そしてこの合唱をずっと忘れない。そんなステキな思い出を胸に、卒業をむかえることも、私達音楽教師の役目でもあります。

会報担当 色部(滝山小)

小島(山八中)